九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

『呉語読本』抄訳 ： 九尾亀　第163回（一部）

石，汝杰
九州大学高等教育総合開発研究センター ： 教授 ： 中国語学

西山，猛
九州大学大学院言語文化研究院 ： 助教授 ： 中国語学

中里見，敬
九州大学大学院言語文化研究院 ： 助教授 ： 中国文学

平田，直子
日本学術振興会 ： 特別研究員 ： 中国語学

https://hdl.handle.net/2324/5561

出版情報：『呉語読本』音声データの作成と公開．論文・翻訳編（第一冊），pp.59-66，2004-03-01．九州大学高等教育総合開発研究センター
バージョン：
権利関係：

『呉語読本』抄訳

石汝杰 監修

西山猛・中里見敬・平田直子 訳

【凡例】

1. 『呉語読本』には多様なジャンル・様式の文献が収録されている。ここでは、小説として『九尾亀』を、弾詞として『九美図』を、伝奇として『鉢中蓮』を訳出して、呉語文学・文芸の多様さの一端を日本語で味わえるようにした。

2. 呉語文学・文芸のもう一つの特徴は、一つの作品中における文体の多様さにある。呉語と官話、白話と文言、韻文と散文といった異なる文体が混在している。こうした多様な文体を翻訳で表現することは至難であるので、以下のように字体を変えることによって文体のちがいを表した。

   呉語の部分は、**黒体太字（ゴチック・ボールド）**。

   唱などの韻文部分は、*斜体字（イタリック）*。

   官話の部分は、明朝体。

3. 翻訳にあたっては、なるべく原文に即した直訳体で訳すことをこころがけた。

4. 分担は以下のとおり。『九尾亀』を中里見、『九美図』を平田、『鉢中蓮』を西山が整理し、三人で相互に検討したうえで、石が全体を見た。

九　尾　亀

［清］張春帆

第 163 回　旧侍に逢いて深宵に秘戯を談じ、
新逋を索めて軟語もて干娘に媚びる（一部）

『呉語読本』pp. 37-39

阿玉走得不多时，早见女本家金姐走进房来，对着沈二宝冷冷的说道：

阿玉が出ていくとすぐに、女主人の金姐が部屋に入ってきて、沈二宝に対して冷ややかに言います。

“二小姐，耐也要转转念头哉哩。倪格房饭钿搭仔菜帐，本底子不要紧，不过今年格事体勿比旧年搭仔前年，倪自家开销才开销勿转，尴尬头来里。实梗洛今年格房饭钿、菜账才要付清。耐是格外勿比别人，再有四百块洋钿借头。耐今朝阿好先付几百洋钿，等倪去开销开销，再有格到仔年底再算，阿好？”

「二小姐、あんたも頭を使わなくっちゃ。うちの部屋代、飯代と料理代は、もともとたいしたことではないのよ。でも、今年の様子は去年やおととしとはわけがちがうの。私は自分の支払いもできずに、困ったことになっているの。だからね、今年の部屋代、飯代、料理代はきれいに払ってもらわないと。あんたは特に他の人とはちがって、四百元の借金まであるでしょう。あんた今日ひとまず何百元か出して、私に支払いに行かせて、残りは暮れにまた清算するということで、どうだい？」

沈二宝听了大惊，好似兜头泼了一瓢冷水的一般，只得对着金姐说道：

沈二宝は聞いてびっくり、まるで頭めがけて冷水をひしゃく一杯かけられたようで、金姐に対して次のように言うほかありません。

“呒姆，勿瞒耐说，倪帐浪一榻刮仔收着仔一百几十洋钿，零零碎碎老早用完结格哉。格件事体末那哼弄法？总要请耐呒姆帮倪忙格哉。”原来这个沈二宝是金姐的干女儿，所以沈二宝也叫他“呒姆”。

「お母さん、つつみかくさずに言いますが、私の花代のつけは全部で百数十元しか

入ってこず、こまごまとしたことでとっくに使い切ってしまいました。このことはいったいどうすればいいでしょう？　どうしてもお母さんに助けてもらわねばなりません。」実はこの沈二宝は金姐の養女なので、沈二宝は彼女のことを「お母さん」と呼んでいるのです。

当下金姐听了沈二宝的话，板着个脸儿，冷笑一声，道：

金姐は沈二宝の話を聞くとすぐさま、仏頂面をつくり、せせら笑って言いました。

“世界路浪格事体，铜钿银子真公事，叫倪那哼帮耐格忙？倪搭耐是一径蛮要好，大家格心思也蛮对劲。不过今年格事体直头尴尬，耐想倪自家格开销勿够，洛里再好帮耐格忙？耐总要豪燥点想法子末好，勿要到仔格个辰光，大家难为情。”

「世の中のことで、お金は一番大事なことなの。私にどうやってあんたを助けろっていうの？　私はあんたとずっととても仲良しで、私たちはとても気が合うけれど、今年は本当に困っているの。考えてもごらん、私自身の支払いも足りないのに、どうやってあんたを助けるっていうの？　あんたとにかくはやいとこ手だてを考えておいたほうがいいよ。そのときになって、私たちお互いに気まずいことにならないようにね。」

沈二宝听得金姐的口风甚紧，心上更觉着急。暗想：“如今世上的人，真真是世态炎凉，不堪回首。前两年自己生意很好的时候，就是一个大钱不给他都不要紧。就是这个金姐，平日之间也不知受了自己的许多礼物，占了自己的无数便宜。如今却这样的反面无情，逼迫得这般利害。”想着，不觉叹一口气，便又对着金姐，恳恳切切的说道：

沈二宝は金姐の口調がきついのを聞いて、ますます気持ちがあせり、心中ひそかに思います。「今の世の中の人は、まさに金の切れ目が縁の切れ目、思い返すのも忍びない。数年前、私の景気がよかったときは、たとえ一文も払わなくても、たいしたことないっていう態度だったのに。この金姐ときたら、ふだん私からどんなにたくさんの贈り物をもらい、私からどれだけうまい汁を吸ったかしれないわ。それなのにいま、こうして手のひらを返したように情け容赦なく、こんなに厳しく取り立てを迫るなんて。」そう思いながら、思わずため息をつくと、また金姐に対して、ねんごろに言います。

“呒姆格待倪一径勿错，倪只要有法子想，洛里肯实梗样式？故歇实在一个

铜钿才呒拨来里，只好请呒姆停脱格一两日，等倪到外势去想法子……”

「お母さんは私にずっとよくしてくれました。私に手だてが見つかりさえすれば、どうしてそのようなことを頼んだりするでしょうか？　いま本当に一銭もないので、お母さんにしばらく待ってもらうしかありません。私が外へ出かけて手だてを見つけたら……」

金姐不等他说完，顿足说道：“耐末说得蛮舒徐：‘呒啥要紧’。耐阿晓得今朝是啥格日脚哉？今朝已经廿六，再要停脱格一两日，已经小年夜哉。谢谢耐，耐总算照应倪格，拿格笔房饭帐、菜钿算清爽仔。耐真正弄勿落末，倪大家慢慢里再想法子。耐总算看倪面浪，拨倪一个面子。要是耐一干仔勿拿出来，大家也才看仔耐格样子，才勿拿出来，格是倪僵哉啘。照式实梗样式，上海滩浪格本家洛里还有人做？卖脱仔自家格身体来赔，也勿够啘。”

金姐は彼女が言いおわるのも待たずに、足を踏みならして言います。**「あんたはえらく気軽に、『たいしたことない』って言うのね。あんた今日は何日か知ってるのかい？　今日はもう二十六日。あと数日で、もう小晦日(こつごもり)*1になるんだよ。あんたにはすまないけど、もしあんたがほんとうに私のことを考えてくれるのなら、部屋代、飯代、料理代をきれいに払っておくれ。あんたがほんとうにどうしようもないのなら、私たちゆっくり手だてを考えることにしようじゃないか。ともかくあんた、私の顔に免じて、私の面子をつぶさないようにしておくれ。もしもあんた一人が払わなければ、みんなもあんたのやり方を見て、払わなくなる。そしたら私はひどいことになるわ。そのようにすれば、上海のやり手はどこに仕事を続ける人がいるってんだい？　自分の体を売って賠償しても、足りないよ。」**

沈二宝见金姐这样顶真，没奈何，只得含着一胞眼泪，拉着金姐的手，宛宛转转的央告道：“呒姆请坐仔，倪有两声闲话要搭呒姆商量。”

沈二宝は金姐がこんなに融通のきかないのを見て、どうしようもなく、目にいっぱいの涙をうかべ、金姐の手をひいて、やんわりとお願いするほかありません。**「お母さん、お座りください。私、お母さんにご相談いたしたいことが少しばかりあるんです。」**

金姐铁铮铮的洒脱了手道：“格是呒啥商量格。耐呒拨洋钿，搭倪商量；倪呒拨洋钱，去搭啥人商量呀？今朝搭耐说明白仔，耐豪燥点自家去转点念头。勿

---

*1 旧暦で大晦日(おおみそか)の前日。

要到仔归格辰光，大家面子浪过勿去，倒说倪坍仔耐格台！”说着，便回身要走。

金姐はきっぱりと手を振りはらって言います。**「なにも相談することなどないよ。あんたはお金を出さずに、私と相談かい。私はお金を出さなければ、誰のところに相談しに行くってんだい？　今日あんたにはっきり言っておくがね、あんた早いとこ自分で考えをめぐらしておきな。そのときになって、お互いに面子が立たなくなって、私があんたの顔をつぶしたなんて言わないようにね！」**　そう言いながら、向きなおって出ていこうとします。

沈二宝忍气吞声的一把拉住了，道：“呒姆，勿是呀，倪有生意浪格闲话搭呒姆商量呀！”金姐听了，方才回身坐下，催他有话快说。

沈二宝はひたすら平身低頭し、さっと引きとめて言います。**「お母さん、ちがうんです。私は仕事のことでお母さんに相談することがあるんです！」**　金姐はそれを聞くと、向きなおって腰をおろし、話があれば早く言うように彼女に催促した。

沈二宝便把潘侯爷的性情专爱能坐自行车的女人，和自己昨日心中的意思，要想在潘侯爷身上弄他一大笔钱，宛宛转转的和金姐说了一遍。又蹙着眉头道：

沈二宝は、潘侯爺の性格が自転車に乗れる女ばかりを好きになること、そして自分が昨日心に思っていたこと、つまり潘侯爺からまとまった金をまきあげようということを、金姐にひとしきりやんわりと話しました。そして眉をひそめて言います。

“倪格人呒姆也晓得格，只要潘家里跑进仔倪格门，老老实实勿怕俚跑到啥地方去。不过格件事体，总归是开年格事体哉。今年年里向，洛里有洋钿开销？呒姆就是拿倪随便那哼，也逼勿出一个铜钿。衣裳首饰，好格老早当脱格哉。故歇格点衣裳首饰，一榻刮仔几百洋钿格事体，再要去当脱仔，新年里向那哼出去做生意？倪想起来，只得求求呒姆，赛过做好事，搭倪随便洛里去借几百洋钿，拿格房饭账、菜钿付清仔，就是五分八扣，也说勿得格哉。倘忙到仔开年，靠仔呒姆格福气，生意浪多点洋钿，总归搭呒姆二八分帐末哉。倪待呒姆一径勿曾错歇，赛过自家格亲生娘；呒姆待倪也赛过自家格亲生囡仵。呒姆总算照应仔自家格囡仵，倪受仔呒姆格好处，心浪也明白来浪。”

「私って人は、お母さんもご存じのように、潘さんがうちの門をくぐってくれさえすれば、実のところ、彼がどこかへ行ってしまう心配などいらないんです。でもそれは、来年のことです。今年のうちは、どこに払えるお金があるでしょう？　たとえお母さんが私をどのようにしたって、一銭たりとも出てきっこないんです。服もアクセ

サリーも、よいものはとっくに質に入れてしまいました。いま身につけている服とアクセサリーは、全部で何百元かになるでしょうが、それまで質に入れてしまったら、新年にはどうやって商売をすればいいのでしょうか？　私はあれこれ考えたあげく、お母さんにお願いするほかなかったのです。善行を積むと思って、私のために適当にどこかで何百元か借りて、部屋代、飯代、料理代を払わせてください。たとえ利子がどんなに高くても、しかたありません。もし来年になって、お母さんのおかげで、仕事でいくらかお金がもうかれば、必ずお母さんと二対八で分ければいいでしょう。私はこれまでずっと、まるで自分の実の母親のように、お母さんをおろそかにしたことはありません。お母さんも私をまるで自分の実の娘のようにしてくれました。お母さんはちょうど自分の娘の面倒をみるようにしてくれ、私はお母さんによくしてもらったことを、心にはっきりとわかっているんです。」

说到这里，不觉眼圈儿一红，心上觉得十分委屈，又道：

そこまで言うと、思わず目のまわりが赤くなり、心には大変やりきれない思いがして、また言います。

“倘忙呒姆定规勿肯答应，倪也勿怪呒姆，总归才是倪自家勿好。到仔故歇，懊悔也懊悔勿来格哉。呒姆再勿肯照应倪点是，今生今世总归呒拨出头日脚格哉。”说着，不由得两泪交流，几乎要哭出来。

「もしお母さんがどうしても承知してくださらないのなら、私もお母さんを責めるわけにはいきません。結局のところ私自身が悪いんです。いまになって悔やんでも、悔やみきれません。もしお母さんがもう私のことを面倒見てくれないのなら、今生この世で日の目を見れるときはないということです。」　そう言いながら、思わず両の目から涙があふれ、ほとんど泣き出しそうになります。

金姐听了这番说话，却着实的沉吟了一回，顿时面上露出笑容来。

金姐はその話を聞いて、しばらくじっと考えこむと、急に顔に笑みを浮かべます。

看官，你道金姐是听了沈二宝的一番话儿说得十分恳切，方才打动了他的心么？那里知道世界上当老鸨的人，都是那狼心狗脸，鼠肚鸡肠，只认得钱、不认得人的宝货。就是他亲生父母欠了他的钱，也是一文不饶，两文不让的。何况沈二宝不过是他的干女儿，那里肯放他过去？……他只要自己的钱到了手中，那里还管别人的死活？如今平空听了沈二宝的这一席话，又许他二八分帐，不免就有些贪得起来。更兼知道潘侯爷是上海地方数一数二的阔客，沈二宝又是个堂子里

头香名鼎盛的倌人。……料想将来这个潘侯爷一定逃不出沈二宝的圈套，那时沈二宝有了钱，一个大钱都不会少的。想到这里，便不因不由的脸上露出笑容来。沈二宝看了，知道他心上已经答应，自己心上的一块石头方才落地。

看官（みなさん）、金姐は沈二宝の話が大変ねんごろなのを聞いて、それで彼女の心が動かされたのだとお思いでしょうか？　とんでもない、世間のやり手ばばというものは、みなその残忍非道さは狼の心に犬の顔のよう、度量の小ささは鼠の肝に鶏の腸のよう、金にしか目がなく、人を人とも思わぬひどいやつなのです。たとえ彼女の実の父母が彼女に借りがあったとしても、びた一文も負けてやることはないのです。まして沈二宝は彼女の養女にすぎないのだから、彼女を見逃してやるはずがありましょうか？……彼女は自分の金が手元に戻って来さえすれば、どうして他人の生死になどかまうものでしょうか？　いまだしぬけに沈二宝のその話を聞き、そのうえ彼女に二対八で分けることを承諾したので、ついつい欲が出てきました。さらに潘侯爺は上海で一、二を争う金持ちで、沈二宝も妓館では令名を馳せた娼妓であることはわかっています。……（金姐は心の中で）次のように思います、将来この潘侯爺はきっと沈二宝のわなから逃れられないだろう。そうすれば沈二宝はお金ができて、一文残らずそろえて（返して）くれるだろう。そこまで考えると、わけもなく顔に笑みがこぼれるのでした。沈二宝はそれを見て、彼女の胸のうちではすでに承諾していると知り、自分の胸につかえていた石がとれてほっとしたのです。

金姐看了沈二宝一眼，故意叹一口气，道："二小姐，耐是年纪轻，勿晓得上海滩浪格把势饭勿容易吃嘘。耐放仔好好里格客人勿做，去搭仔格排唱戏格戏子吊膀子。耐看仔格排戏子巴结得耐蛮舒徐、蛮高兴，只当俚笃是好人。洛里晓得，格排滑头码子才来浪想耐格洋钿，洛里有啥格真心待耐？等到耐洋钿呒拨哉，俚笃也勿来哉。倪格辰光一径搭耐说，格排戏子靠勿住，耐勿肯听倪格闲话，故歇弄得实梗。早点听倪两声闲话，洛里会到实梗样式？二小姐啊，吃格碗把势饭苦煞格嘘，拿仔自家身体去换别人家格铜钿，洛里会几化称心？耐末贪图仔戏子称耐格心，样式样才依仔耐。耐要俚笃那哼，俚笃就听耐那哼。阿晓得自家身体称仔心，铜钿勿称心哉呀。"

金姐は沈二宝をちらりと見て、わざとため息をついて、言います。**「二小姐、あんたはね、年も若くて、上海の妓館でやっていくのが大変だってことを知らないのよ。あんたときたら立派なお客を取らずに放っておいて、あの芝居唱いの役者に色目を使うんだから。あんたはあの役者があんたのご機嫌をとるのがじょうずなので、うれしくなってしまい、彼らをいい人だと思っている。こういったずるがしこい人たちはみなあんたのお金をねらっていて、あんたとつきあうのに真心なんてありはしないことが、どうしてわからないんでしょう？　あんたにお金がなくなれば、彼らも来なくな**

るんだよ。私はあのときずっとあんたに言ったでしょう。この役者たちはあてにならないって。あんたは私の言うことを聞かないから、いまこんなになっちゃったのよ。もっと早く私の言うことを聞いていれば、ここまでならなかったはずでしょう？　二小姐よ、妓館で生計を立てることはとてもつらいことなのよ。自分の体でひとさまのお金をあがなうのに、思いどおりになることなどいくらもあるはずはないでしょう？あんたはね、役者をあんたの思いどおりにし、なんでもあんたの言いなりにさせて、あんたが彼らに望むことは、なんでも彼らがそのようにする、というふうに思っていたんでしょう。ところが、自分の体は思いどおりになっても、お金は思いどおりにならなかったのよ。」

金姐说到这里，还待要再说下去，只把一个沈二宝说得满心惭愧，满面羞惶。凭着沈二宝的脸皮再厚些儿，也不由带耳根连脖子都涨得通红。金姐便顿住了口，不说下去。

金姐はここまで言い、さらに続けて言おうとしたが、沈二宝の心も顔も恥ずかしさでいっぱいになるほど言いのめしたので、たとえ沈二宝の面の皮がもっと厚くても、思わず耳の付け根から首まで真っ赤になったことでしょう。そこで金姐は口をつぐんで、それ以上は言いませんでした。

（中里見敬 整理）